



春は新入社員を迎える季節です

現場であってはならない事故（労働災害）。
調理作業だけではなく、洗浄作業においても事故防止は重要です。
今回は、新入社員だけではなく、ベテランにも注意してほしい洗剤
による事故を防止するためのポイントを紹介します。

プロの現場で使用する洗剤は、家庭用の洗剤とは違います。
効率的に洗浄ができる一方で、誤使用により思わぬ事故に繋がります。
安全に洗浄作業をするためにはどうすれば良いのでしょうか。

○安全に作業するための正しい洗剤の使用方法

① 洗剤使用時は**保護具**を着用する

- ・洗剤使用時には、必要に応じて保護眼鏡、保護手袋、マスク、エプロンなどの保護具を着用し、作業に当たること。



→ 保護具の着用で、安全に作業をしましょう。

② 洗剤は「**専用容器**」で使用する

- ・メーカー指定、または職場の専用容器で使用する。
⇒ 不用意に他の容器に入れ替えない
- ・容器には専用シールで中身が分かるようにする。
⇒ 油性マーカーなどは消える場合があるので使わない。

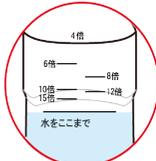
誤飲や液漏れなどの不慮の事故の原因となるので、ペットボトルやアルミ缶などには詰替えないこと！



→ 専用容器で、誤使用や事故を防止しましょう。

③ 正しい**使用濃度**を守る

- ・決められた濃度を必ず守って使用する。
 - ・希釈する場合は計量カップや計量線の入った専用容器を使う。⇒ 目分量など感覚に頼らない。
- 適正な濃度で使用することで、効率的に汚れを落とすことができます。
また、思わぬケガや調理器具等の腐食など、トラブルを防いで安全に作業ができます。



正しい濃度で洗って、
汚れスツキリ

④ 洗剤は「**混ぜず**」に正しく使う

- ・必ず1種類ずつ単独で使用する。



このような絵表示
には注意！



特に酸性洗剤と塩素系洗剤は混ぜると有毒ガスが発生するので、保管場所・使用場所を分けること！

→ 正しい使い方で、事故を防止しましょう。



Recommend

30秒で泡の色が変わる『きれいサイン』
で誰でもきちんと手洗いができる
手指用洗剤

セーフメイトFR

医薬部外品



塩素系除菌漂白剤
ブリーチ5



主成分：次亜塩素酸ナトリウム

食品添加物アルコール製剤
アデチールL5



主成分：エタノール

※製品についての詳細は
営業員までお尋ね下さい。

安全確保のために必ず実践したいポイント

(1) ラベルを確認する習慣をつける

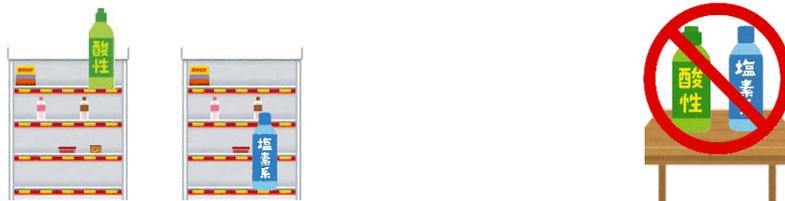
洗剤には、絵表示（ピクトグラム）や注意書きで危険性が示されています。使用する前にラベルを確認し、正しい使い方や安全対策を理解しましょう。また、万が一事故が起きた場合の応急処置もラベルに記載されています。すぐに対応できるよう、あらかじめ確認しておくことが大切です



※ラベルの他、安全データシート(SDS)についても確認しましょう。

(2) 整理・分離・定位置管理を徹底する

洗剤は種類ごとに整理し、決められた場所に置いて管理しましょう。定位置に置くことで、取り違えや誤使用を防ぐことができます。特に、酸性洗剤と塩素系洗剤は混ぜると有毒ガスが発生する危険があります。距離を離すなど、分けて保管するなどの環境づくりが重要です。



(3) 決められたルールと手順を守る

洗剤の管理方法や使用方法には、職場ごとに定められたルールがあります。ルールを守ることが、事故を防ぐための最も基本的な行動です。マニュアルは必ず読み、内容や手順が分からない場合は、自己判断せず、必ず先輩や責任者に確認しましょう。



洗剤は正しく使うことで、洗浄効果が得られます。また、正しく使って管理することは事故防止につながります。日々の「当たり前」を徹底し、全員で安全で安心な現場環境を作っていきましょう。

☆新入社員教育で重要な「食品衛生の基本」については、バックナンバーVol.22でご紹介していますので、こちらをご覧ください。

出典・参考：厚生労働省HP

DEKA クリーンエイド株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5-12 NMF 駿河台ビル ☎03(3816)1275



お問い合わせ・製品情報は

WEBで

<https://www.acajp.com>

